

三宮地区のまちづくりの目標

三宮地区では、魅力あふれる神戸都心の再生をめざして、商業・業務・文化など都心機能の一層の集積・拡充を図るとともに、安全で快適な市街地を形成します。

そのために、三宮地区をまちの性格に応じた5地区に細区分して地区計画を定め、防災に配慮した建築物の建設や避難動線の確保に努めるなどが、以下のような方針でまちづくりを進めます。

(三宮西地区—約7.3ha)

安全で魅力的な広域交流地区の形成

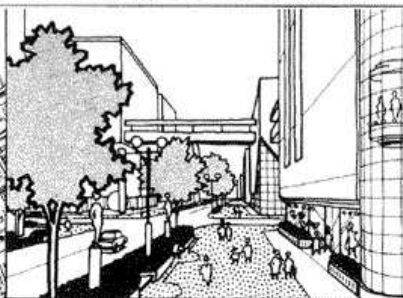
- 広域商業機能の拡充・強化
- 避難動線の確保
- 狭小ビルの解消



(三宮駅南地区—約18.5ha)

安全なターミナル地区の充実・強化

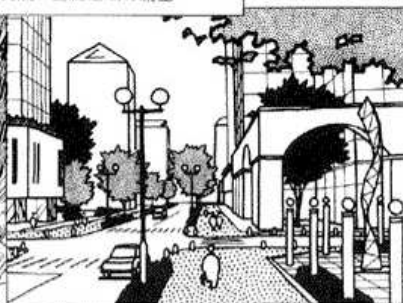
- ターミナル機能を中核とした商業・文化・交流拠点の拡充
- 神戸の玄関口にふさわしい顔づくり
- ターミナル機能の防災化の推進と避難動線の確保



(税関線東地区—約11.5ha)

安全で快適な都心業務地区の形成

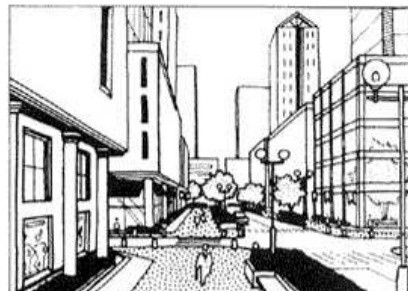
- 業務サービス機能の強化
- 商業・文化機能の充実
- オープンスペースの確保による市民交流、避難空間の創出



(旧居留地地区—約22.1ha)

安全で活力ある中枢管理業務地区の充実

- 中枢管理業務機能の強化
- 歴史的環境に配慮した風格ある都市景観の形成
- 防災機能の強化



(税関線沿道南地区—約11.2ha)

シンボルロードとしての安全性と魅力の向上

- 都心業務・行政機能の強化と安全性の確保
- 市民が交流する安全な歩行者空間の充実
- シンボルロードにふさわしい風格ある都市景観の形成

